

米軍の無人機攻撃と民間人の死者数（～2020年）

	攻撃回数	死者数（子ども）
アフガニスタン	13072	300～909（66～184）
ソマリア	202	12～97（1～13）
パキスタン	430	424～969（172～207）
イエメン	336	174～225（44～50）
合計		910～2200（283～454）

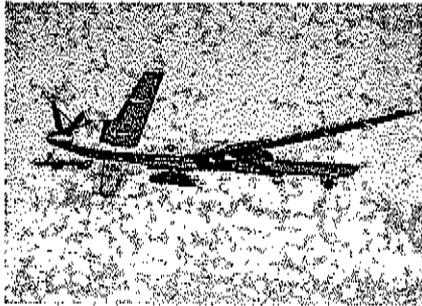
テロ勢力などを含めた合計で8858～16901人

※英民間調査団体「ピューロー・オブ・インベスティグイティブ・ジャーナリズム」報告書から

鹿児島・鹿屋 米無人機配備計画

海上自衛隊鹿屋基地（鹿児島県鹿屋市）への米空軍無人攻撃機MQ9リーパー（死に神）の配備計画は、中国をにらみ、九州から沖縄にいたる「第一列島線」上への増強計画の一端であり、この地域一帯の緊張を高め、戦場化を加速する危険な動きです。

米軍は2014年5月、月々10月まで、海洋監視以降、無人偵察機RQ4を主任務とするMQ4トクローバルホークの三沢（青森県三沢市）、横田（東京都福生市など）への一時展開を繰り返してきています。また、自衛隊もトクローバルホーク3機を配備する計画です。



MQ9リーパー（米国防総省DVIDS）

ただ、これらの任務はあくまで監視活動です。鹿屋に配備が計画されているMQ9リーパーは「攻撃型」であり、しかも、米軍の無人攻撃機の中でも最も攻撃能力が高いとされています。1面報道のように、MQ9は2007年から米軍の「対テロ」戦争に導入さ

最も攻撃能力高い機種

緊張高め 戦場化加速

れ、テロ勢力の指導者など特定の標的の殺害に用いられてきました。半は、MQ9および、その前身であるMQ1プレデーターによるものとみられます。

しかし、イラク軍、アフガニスタン軍や地元警察、協力者などの情報を「海軍監視」であることを強基に、パイロットは画面越しに遠隔操作で攻撃を行っていくという無人機の特長があるなら、偵察を専門と上、誤爆が相次いでいる無人攻撃機リーパーなどの理由を明らかにする必要もありません（表）。大がかりな（竹下啓）

知事が恒久化に懸念

米軍の無人偵察機「MQ9」を海上自衛隊鹿屋基地（鹿児島県鹿屋市）に一時展開させる計画をめぐり、防衛省九州航空基地（鹿児島県鹿屋市）に一時展開させる計画をめぐり、防衛省九州防衛局の伊藤哲也局長は「10日、鹿児島県庁を訪れ、塩田康一知事らと面会しました。面会後、塩田知事は記者団に「一時展開（？）ということだが、将来どうなるかは

米軍の無人偵察機「MQ9」を海上自衛隊鹿屋基地（鹿児島県鹿屋市）に一時展開させる計画をめぐり、防衛省九州航空基地（鹿児島県鹿屋市）に一時展開させる計画をめぐり、防衛省九州防衛局の伊藤哲也局長は「10日、鹿児島県庁を訪れ、塩田康一知事らと面会しました。面会後、塩田知事は記者団に「一時展開（？）ということだが、将来どうなるかは